

## 第3章 計画の目指すもの

### 1. 目指す環境像

ここでは、本市の環境の現状と課題、市民の環境に対する意識、南丹市総合振興計画などを踏まえ、基本理念を明確にし、それに基づいて本市が目指す将来の環境像を示します。

#### 1) 基本理念

##### 意欲のある人

私たちは、環境をよくするために自ら考え、行動する、意欲のある人を目指します

環境保全のためには、一人ひとりの日常生活やあらゆる事業活動が、地域の環境にさまざまな影響を及ぼすことを認識し、行動することが重要です。環境を<sup>いつく</sup>慈しむ心を育み、環境をよくするにはどうすべきか、自ら考え、行動する、意欲のある人を目指します。

##### きずなを結ぶ

私たちは、環境を<sup>いつく</sup>慈しむ心をとおして「人と人」を結び、きずなの強いまちを目指します

一人ひとりの取り組みが一体となった時、大きな力が生まれ、まち全体の活気にもつながります。環境を慈しむ心をとおして、人と人がきずなで結ばれたまちを目指すとともに、市外への結びつきも広げ、人が行き交うまちを目指します。

##### 資源を活かす

私たちは、限りある資源を活かし、持続的に発展するまちを目指します

私たちは、従来の大量生産・大量消費・大量廃棄型のライフスタイルを見直す必要があります。環境への負荷の低減に努め、限りある資源を大切にし、活かすことで、将来にわたり良好な暮らしを保つとともに、まちの持続的な発展を目指します。

##### 自然と共生

私たちは、豊かな自然を守り、将来に残すため、人と自然が共に生きるまちを目指します

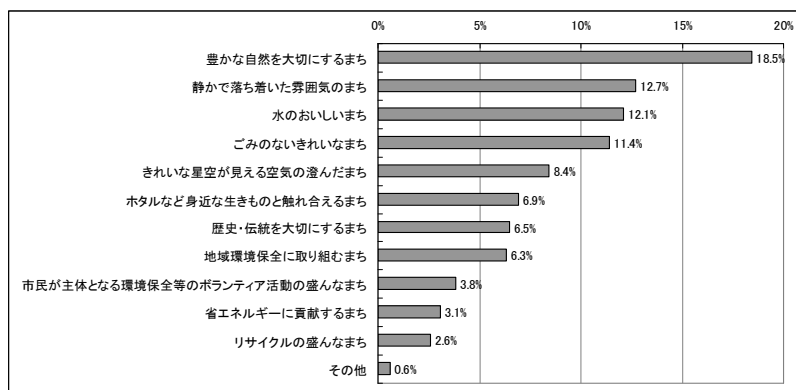
豊かな自然環境は、私たちにさまざまな恩恵を与えてくれます。このかけがえのない財産を将来に残すため、自然を愛し、自然環境と調和したまちづくりに努め、人と自然の共生を目指します。

## 2) 市民の望む南丹市の将来の姿

意識調査によると、自然を大切にすまち、自然に囲まれたまち、きれいな緑や川などの豊かな自然環境、おいしい水や澄んだ空気といった快適な生活環境が、特に望まれているといえます。

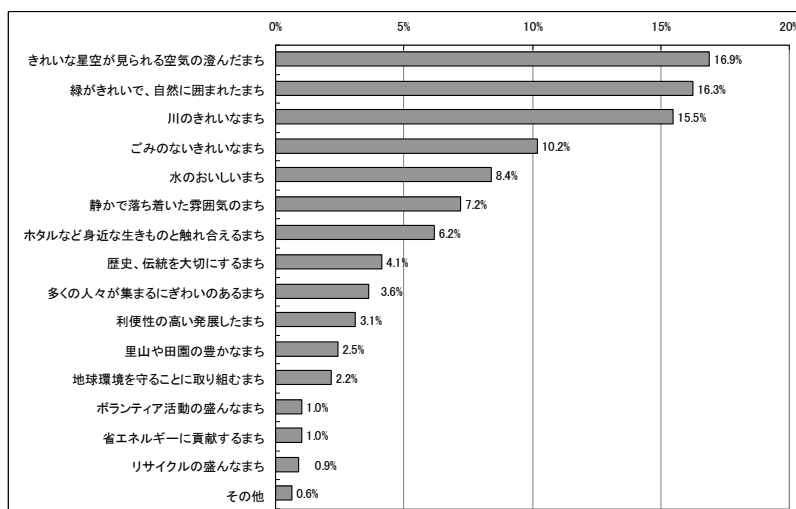
### 【南丹市の将来の望むイメージ —市民アンケート調査結果より—】

市の将来のイメージとしては、「豊かな自然を大切にすまち」「静かで落ち着いた雰囲気のみち」「水のおいしいまち」が求められています。



### 【南丹市の将来の望むイメージ —中学生アンケート調査結果より—】

市の将来のイメージとしては、「きれいな星空が見られる空気の澄んだまち」「緑がきれいで、自然に囲まれたまち」「川のきれいなまち」が求められています。



### 3) 目指す環境像

前述した基本理念に基づき、意識調査による市民の望む本市の将来の姿を踏まえ、目指す「環境像」を次のように定めます。

#### 環境像

### 自然と人が結びあう “いきいき”南丹市

本市は、個性あふれる4つの地域が合併したまちです。

るり溪、芦生原生林をはじめとする山林、そこから流れる由良川、桂川などの河川、その間に形成された盆地に広がる農地といった、多様な自然環境が身近に存在しています。

この自然環境を背景に、農林業も盛んで、自然の恵みを活かした特産品が魅力となっています。豊かな自然は人々に憩いを与え、観光資源にもなっています。

また、本市は美しい景観に恵まれており、景観行政団体※となっています。丹波国の政治・文化の中心地として栄えてきたことから、歴史的・文化的遺産も随所に存在しています。

さらに、本市には、それぞれの地域に、人、環境活動団体、事業者、高等教育機関などが存在します。愛すべき本市の環境を慈しむ心をとおして、それぞれがきずなで結ばれたまち、自然と人とが結ばれたまち、さらに市外にも結びつきを広げ、環境を軸としたまちの発展を目指します。

そして、“いきいき”は、基本理念である

**い**：意欲あふれるまち（一人ひとりの率先した取り組みが広がるまち）

**き**：きずなの強いまち（人と人、人と地域が結びついたまち）

**い**：活かすまち（限りある資源を活かし、持続的に発展するまち）

**き**：共生するまち（人と自然が共生し、豊かな自然あふれるまち）

に基づくほか、

**人がいきいき**：快適な環境により、一人ひとりが生き生きと暮らすまち

**自然がいきいき**：自然を守り、親しむことにより、自然が息づくまち

**まちがいきいき**：人が行き交い、産業が発展することにより、活気あふれるまち

を目指すという意が込められています。

## 2. 計画の基本目標

ここでは、本市の「環境像」を実現するため「人づくり」「生活環境」「地域環境資源」「資源循環」の4つの視点から、本計画を推進する上での基本目標を定めます。

### 人づくり

環境を<sup>いつく</sup>慈しむ心を育み、自ら考え、行動し、協力し合います

本市の将来を担う子どもたちをはじめ、市民、事業者すべての人の「環境を<sup>いつく</sup>慈しむ心」を育み、それぞれが自らどうすべきか考え、率先して行動することを目指すとともに、みんなで協力し合うことにより、大きな力を生み出します。



子どもたちによる水辺の観察会（八木町西田）

### 生活環境

思いやりを大切にし、みんなが快適に暮らせるまちを創ります

誰もが安全で安心した暮らしができるよう、公害の防止に努めるほか、思いやりの心を大切にし、まちの美化や身近な場所への植栽などに取り組み、みんなで快適な空間を創り、守ります。



地域が協力して行う美化活動  
（JR園部駅西口の清掃）

## 地域環境資源

### 自然・歴史・文化 南丹のかがやきを守り、伝えます

自然資源・歴史資源・伝統文化など、地域の個性あふれる資源（財産）に積極的に触れ、みんなで大切に守り、未来に伝えます。



府登録文化財となっている牧山の松明行事  
（日吉町中世木の普門院）

## 資源循環

### 水・もの・エネルギーを有効活用し、環境への負荷が少ないまちを創ります

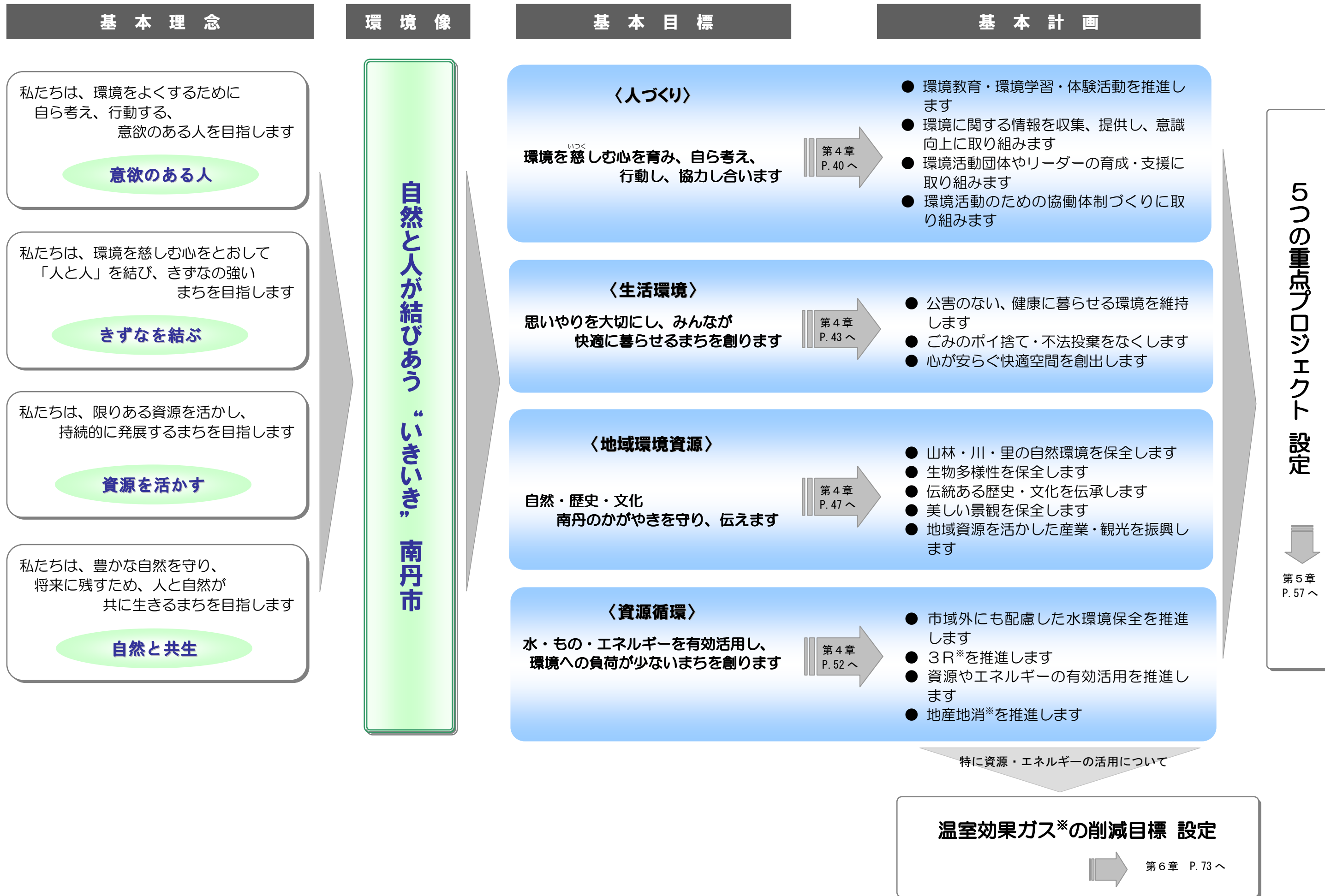
本市は由良川・桂川（淀川水系）の最上流地域に位置することから、下流地域のこととも思いやりながら、流域全体の水環境保全に貢献します。

また、ごみの減量化や3R※、エネルギーや資源の有効活用および循環を推進し、環境への負荷の少ない、持続可能なまちづくりに取り組みます。



美山川のクリーンリバー作戦  
（由良川上流にあたる美山川）

# 計画の体系



## 基本理念

私たちは、環境をよくするために  
自ら考え、行動する、  
意欲のある人を目指します

**意欲のある人**

私たちは、環境を慈しむ心とおして  
「人と人」を結び、きずなの強い  
まちを目指します

**きずなを結ぶ**

私たちは、限りある資源を活かし、  
持続的に発展するまちを目指します

**資源を活かす**

私たちは、豊かな自然を守り、  
将来に残すため、人と自然が  
共に生きるまちを目指します

**自然と共生**

## 環境像

自然と人が結びあう “いきいき” 南丹市

## 基本目標

### 〈人づくり〉

環境を慈しむ心<sup>いつく</sup>を育み、自ら考え、  
行動し、協力し合います

第4章  
P.40へ

- 環境教育・環境学習・体験活動を推進します
- 環境に関する情報を収集、提供し、意識向上に取り組みます
- 環境活動団体やリーダーの育成・支援に取り組みます
- 環境活動のための協働体制づくりに取り組みます

### 〈生活環境〉

思いやりを大切にし、みんなが  
快適に暮らせるまちを創ります

第4章  
P.43へ

- 公害のない、健康に暮らせる環境を維持します
- ごみのポイ捨て・不法投棄をなくします
- 心が安らぐ快適空間を創出します

### 〈地域環境資源〉

自然・歴史・文化  
南丹のかがやきを守り、伝えます

第4章  
P.47へ

- 山林・川・里の自然環境を保全します
- 生物多様性を保全します
- 伝統ある歴史・文化を伝承します
- 美しい景観を保全します
- 地域資源を活かした産業・観光を振興します

### 〈資源循環〉

水・もの・エネルギーを有効活用し、  
環境への負荷が少ないまちを創ります

第4章  
P.52へ

- 市域外にも配慮した水環境保全を推進します
- 3R\*を推進します
- 資源やエネルギーの有効活用を推進します
- 地産地消\*を推進します

特に資源・エネルギーの活用について

**温室効果ガス\*の削減目標 設定**

第6章 P.73へ

5Sの推進プロジェクト設定

第5章  
P.57へ